

2017年9月28日

報道関係各位

お問い合わせ先

ベインキャピタル広報担当：久世（くせ）

090-5432-6755/03-3536-2688

東芝メモリ株式会社の株式譲受に係わる最終契約を締結

ベインキャピタルは本日、株式会社東芝と東芝メモリ社の全株式の譲渡を受ける最終契約を締結しました。

本契約において、ベインキャピタルはHOYA株式会社およびApple社、Dell Technologies Capital社、Seagate社、Kingston Technology社、SK hynix社とのコンソーシアムを組成し、東芝メモリ社が日本企業として自主性と独立性を確保しつつ、グローバル企業として更なる成長を続けるためのサポートをしてまいります。Apple社及びDell Technologies Capital社、Seagate社、Kingston Technology社の4社（以下、米国企業）は議決権を持たない社債型優先株式による出資を予定しております。また、SK hynix社の出資の一部は制限付きの転換型社債となる予定です。なお、米国企業及びSK hynix社は東芝メモリ社の事業運営やガバナンスに関与する予定はありません。

また、株式会社産業革新機構及び株式会社日本政策投資銀行も東芝メモリ社に投資を行う意向を示しておりますが、現時点で決定している事項はございません。杉本勇次（ベインキャピタル日本代表）は、「今回の契約はすべてのステークホルダーからの要望に沿った内容であり、東芝メモリ社の技術・生産体制の強化、用途に合わせたソリューションビジネスの強化、事業・生産体制の効率化など、戦略パートナー各社とともにベインキャピタルの経営資源・ノウハウを全て投げ、企業価値の向上に取り組む決意です」と述べています。

また、杉本代表は「本締結によって東芝メモリ社が独立し、グローバルな競争力が大幅に増強すると確信しております。また、日本経済と地域経済の発展に引き続き貢献できる環境が整い、同社の経営陣・従業員の方々と一致団結して、事業支援に全力を傾注する所存です」と語っています。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、経営のパートナーとして事業のバリューアップ支援に注力する世界最大級の投資会社であり、総額750億ドル以上に上る数種類のファンドを運用しております。ミット・ロムニーを中心としたメンバーによる1984年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で300社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ約400名の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。